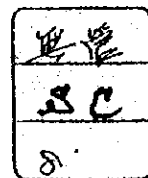


# サントメ・プリンシペ民主共和国 コンタクト・ミッション調査報告

昭和55年12月

国際協力事業団  
無償協力・調達部



国際協力事業団	
国際協力事業団	国際協力事業団
設立	50
設立	50
設立	84.8.22
設立	525
登録No.	10034
登録No.	36
登録No.	13711
	GPA

## は じ め に

本報告書は、わが国の政府開発援助の新規対象候補国である西アフリカ大西洋上に所在するサントメ・プリンシペ民主共和国の実情を把握するとともに、当面実施予定の無償資金協力につき意見を交換し、所要の調査を行うために派遣された「コンタクトミッション」の調査結果をとりまとめたものである。

本調査団は、昭和55年11月24日より12月1日までの間、同国を訪問し、

1. わが国の開発途上地域に対する経済、技術協力の制度につき説明すると共に、昭和55年度内においてわが国より無償資金協力を実施する意向のあることを非公式に伝達し、日本政府側の検討に資するための適当な案件の発掘及び調査を行った。
2. このため、先方政府より具体的対象要件の提示を求め、その目的、背景、内容等につき関係者の説明を聴取すると共に意見の交換を行い。
3. わが国の無償資金協力の仕組み及び諸手続の説明を行うと共に、事情の許す限り公共施設等の視察、実査を行った。

サントメ・プリンシペ民主共和国は、西アフリカ、ガボン国沖合500キロに所在する赤道直下の島嶼国で1975年にアンゴラ国と共に旧宗主国ポルトガルから独立した社会主義国である。サントメ島（佐渡ヶ島程度）プリンシペ島（サントメ島の $\frac{1}{9}$ ）の火山性2島より成り、領土の大半を占める「サ」島は標高2,000メートルを越す主峰を中心とした山勝ちの火山島で、東北部のスロープ地帯と沿岸平地に農林業が行なわれている典型的な一次産品生産国（カカオが中心）で、漁業その他の産業には見るべきものはない。

「サ」島は、ポルトガル本国の大農園主の経営地、別荘地であったこと、市街地形成が小規模で済むこと等もあって、大型農場の諸施設、医療、教育、電力、通信、輸送（含道路）等の産業、社会施設も一応整備しており、奥地未開発国とは様相を異にしており、かつて先進国の一部であったと認めることができる。

しかしながら、5年前の独立を契機とした白人ならびに主要技術者の総退去、資本の引揚げ、新規投資の中断に伴う、各施設全般の老朽化破損が目立ち、国有化された大農園も大巾に生産性の低下を来し、結果として外貨収支、国家経済の悪化の要因となっている。

また政府部内においても、民間企業においても人材不足による行政能力、経営能力の低下、事務処理の非効率化が顕著であり、独立国としての基盤確立のためには、今後先進国の技術、資金面の援助、協力に俟つところが大きく、また人造りの面から長期的視野に立った教育、訓練施設の整備による人間改造、教育水準の向上を計る必要がある。

「サ」国は独立後いち早くソ連、キューバ、ルーマニア等社会主義国との外交関係を樹立し、その後経済、技術協力受入れについては全方位外交を展開しているが、ソ連をはじめ、中共、北

JICA LIBRARY



1029723121

鮮等のプレゼンスが顕著である。国連各援助機関の進出は別として西側諸国としては旧宗主国たるポルトガルのほかフランス、オランダ等の援助進出は見受けられたが、米国、西独等の援助は今後期待されるとの説明であった。入国ビザの取得手続が、リスボン（ポルトガル）、ルアンダ（アンゴラ）等でしか行えぬこと、唯一の入国空路（週1便）および同国退去後の接続便の多くが、国内も安定していないアンゴラ国経営で変更頻発のアンゴラ航空便に依存せざるを得ないことが「サ」国訪問日程を極めて不安定なものにし勝ちであり、本調査団も「サ」国入国の前後にルアンダにおいて再々に亘り日程変更を奔走させられた例があるので、訪問日程作成に際してはある程度時間的余裕を組込む必要がある。

「サ」国に対するわが国の援助、協力実現のためには、更に今後の接触、検討を要する面が多いが、本報告書がいささかなりとも貢献ができれば幸いである。

なお、本調査団が予定通り無事調査を終了し得たのは関係公館、その他の協力のお蔭であり、ここに末尾ながら関係公館々員、その他の方々に改めてお礼を申し上げたい。

昭和55年12月

サントメ・プリンシペ調査団長

風 間 孝 晴

## 目 次

1. 調査の目的及び背景 .....	1
2. 調査団の構成 .....	1
3. 日 程 .....	2
4. 調査方針 .....	3
5. 全体的印象 .....	3
6. 結 論 .....	4
7. サントメ・プリンシペ事情 .....	5
8. 面会者リスト .....	6
9. サントメ政府要人との懇談(メモ) .....	7
10. その他調査資料 .....	8

## 1. 調査の目的及び背景

わが国は1975年7月サントメ・プリンシペを承認したが、その後同国との間には、僅かに国連の場を通じての接触があったに留っていた。わが国は1978年秋、国連安保理遷の関係で、先方国連大使に対し、わが国より経済協力一般について、意見交換を行うべきミッション派遣につき約束した経緯があり、早期にミッション派遣を行う必要があった。

他方、わが国は「サ」から漁業協力の要請を受け、1977年3月にJICAより漁業開発事前調査団を派遣しており、その後「サ」からは、右調査団の報告をもとに、本年6月漁船、冷凍施設の無償供与及び関連専門家の派遣を要請越したが、わが国は同国に水産分野での権益がないため、本件協力を行い得ない状況にある。しかしながら「サ」側が要請するのであれば、それに代るBHNに関連した他の一般無償案件について前向きに検討する用意がある。

以上のような事情を背景として、本件調査団は、上記当方意向を伝達するとともに、同国に対する経済協力(無償援助)につき、先方政府関係者との意見交換を通じ、わが国の援助に適した案件の発掘及び一般事情調査を行うことを主目的とし、併せてわが国の無償資金協力の考え方、手続き等を先方に理解せしめることを目的として派遣された。

## 2. 調査団の構成

団長	風間 孝 晴	JICA無償担当理事
	小林 勝	外務省経済協力第2課
	住本 博	アフリカ第1課

3. 日 程 昭和55年11月19日～12月8日(13日間)

(住本団員は12月7日迄)

11月19日(水)	東京発	パリ着	
20日(木)	パリ発	— マドリッド —	リスボン着
21日(金)			
22日(土)			アンゴラ及びサントメのビザ取得
23日(日)	リスボン発		ルアンダ着
24日(月)	ルアンダ発		サントメ着
25日(火)			外務省訪問
26日(水)			衛星通信地上局(アルジェリア援助、NEC建設)開所式出席及び外務省訪問
27日(木)			外務省、厚生省及び中央病院訪問
28日(金)			外務省、水道電気公社、水力発電所(2ヶ所)訪問、外務大臣表敬訪問
29日(土)			外務省、UNDP事務所訪問
30日(日)			資料整理
12月1日(月)			建設省建設局及び小学校訪問
2日(火)	サントメ発		ルアンダ着
3日(水)	ルアンダ発		
4日(木)	パリ着	同 発	住本団員 リーブルビル着 (在ガボン大使館に報告)
5日(金)	ケニア着		リーブルビル発 (ケニアッタ農工大学実施促進調査)
6日(土)	ケニア発		
7日(日)	パリ着	同 発	パリ着 同 発
8日(月)	東京着		東京着

#### 4. 調査方針

前述の目的を念頭におきつつ、サントメの社会・経済・インフラ整備ないしは国民の福祉に役立ついわゆるB.H.N関連案件につき調査を行った。但し、施設関係は工期の面、交通輸送の便、日本側契約者の確保の困難性より考えてこれを避けることとし、資機材面での協力を中心とし、また供与後の維持管理を考慮してわが方から専門家の派遣を要するような案件、あるいはランニングコストのかかる案件については、これを除外するとの方針で、具体的には以下の分野での供与、協力の可能性につき先方の意向を聴取するとともに意見の交換を行った。

- ア) 医療、保健関係の資機材、薬剤、車輛等
- イ) 教育、研究関係の実験研究機材、教育に必要な資機材
- ウ) 飲料水用としての井戸掘削機械、水道施設用機材
- エ) 輸送力増強関係に必要な車輛、小型輸送船等
- オ) 道路建設整備用重機、車輛等

#### 5. 全体的印象

(1) 調査団の「サ」滞在期間は一週間であったが、先方政府の受入れ体制が整っておらず、実質討議、関連施設の視察及び情報、資料の収集が必ずしも十分ではなかった。しかしながら、滞在中先方に対し、わが方の無償援助システム（一般無償、食糧援助、食糧増産援助等）及び技術協力全般につき説明しつつ、本調査団の所期の目的である本年度無償案件の発掘に努め、「サ」出発日に至り要請機材リストの提示を受けた。今回の先方の要請では道路建設機材、教育機材となっているが、先方としては貨客船等の海上輸送手段の取得要望がかなり強く、今後船についての援助要請がでてくるものと思われる。

(2) 「サ」においては、旧植民地時代の宗主国ポルトガルによる建設あるいは開発が相当進められたため、医療、教育、道路、輸送（トヨタ製のトラック、バス、ジープ等が多い）、通信等の社会施設は一応整備されており、また、サントメ島東部の耕作地帯は概ね大型農園化し（国営農園が15ヶ所存在）、カカオを中心にコブラ、パーム核、コーヒー、バナナ等が広く栽培されているが、独立以後ポルトガル人の引き揚げに伴い管理能力の低下、技術の不足に開発投資の減少が加わって農園の全般的な老朽化及び生産効率の低下を招き現在に至っている他、



社会施設全般にわたり老朽化し、補修あるいは補給を要するものが多いと認められる。カカオは農業生産高の75%、輸出総額の90%を占めているが年によりその生産高は増減するも未だ独立以前の水準を回復せず、価格の低調もあってこれによる外貨収入はそれほどのびていない。国内の製造業にはそれほどみるべきものはなく、財政収支は恒常的に赤字であり、消費物資の慢性的な不足をきたしており、独立国家としての基礎確立のためには相当期間諸外国よりの技術、資金面での援助協力が必要であると考えられる。

## 6. 結 論

(1) 上述の如く一応整備された社会施設、産業施設も資本、技術の欠如により荒廃して機能、生産の低下を来し、更に独立直後(5年)の新政府も財政基盤が確立せず、行政能力も十分と言えない現在、今後相当期間に亘り経済、技術両面において先進諸国の援助、協力を必要とする。その反映として1979年12月の国連第34回総会決議においても各国際機関、加盟国の緊急援助活動を要請している。

(2) しかれば、わが国が「サ」国に対して、どのような規模で援助、協力をを行うべきかについては、今後さらに調査、検討を重ねて結論を出すべきであり、最近IMFも同国について相当詳細な調査を実施しているが、これらをも踏まえた上で、わが国独自の判断を下すことが望まれる。

(3) 当方の意向を伝達した昭和55年度実施予定の無償資金協力については、先方より機材要請リストを受領したが、これによると道路建設機材ならびに教育用機材の供与を求めている。その対応策として今回は次の理由により道路建設機材の一本にしほり無償援助対象として検討するのが適当と思われる。

(i) 資金が2億円に限られており、援助の効果的実施のためには一本にしほった方がよい。

(ii) リスト中の教育機材はかなり小規模なものであり、いわゆる小規模資機材援助のカテゴリーに含まれるものが多い。

については今後の対処方針としては、上記わが方の意向と共に、機材価格を先方に伝え、内容を再検討させた上で、正式要請書を取付け55年度案件(場合によっては56年度案件)として対応することとする。

## 7. サントメ・プリンシペ事情

### (1) 一般概況

サントメ・プリンシペ民主共和国（以下サントメという）は、ギニア湾の赤道直下に位置し、アフリカ大陸から約300Kmの洋上にある群島で、面積は964平方キロ、南北に130Km離れたサントメ島とプリンシペ島からなる完全な熱帯海洋国である。

14世紀末にポルトガル船が来航する以前の歴史については、記録がない。ポルトガルはサントメに商業基地を設け、また島内にはカカオ等の農園をつくって5世紀にわたる植民地統治を行ってきた。

1960年代初めから独立運動が起り、その結果、1963年にポルトガルの海外州となった。1974年4月のポルトガルの政変がきっかけとなって1975年7月12日に独立、サントメ・プリンシペ解放運動（MLSTP）議長のMANUEL PINTO DA COSTAが大統領に推挙された。

なお、1978年の人口は、約8.5万人（世銀統計）で、宗教は大半がキリスト教（カトリック教）であり、公用語としてポルトガル語が使用されている。（1980、IMF調査報告による人口は11万人）

### (2) 政治・経済事情

外交政策は東西両陣営のいずれとも友好関係を結ぶ開放政策を基本とし、1975年9月に国連に正式加盟を認められた。また、OAUの正式メンバーでもある。

1978年の国民総生産は4,000万ドルで、1人あたり国民所得は490ドルとなっているが、独立前と比較すると国内の生産面でも外国との貿易についても、経済活動は極度に沈滞しているとみられる。

物価が国家統制下にあるため、日用品価格そのものは安定しているが、外貨不足から輸入が十分でなく、物資の不足が恒常的に続いている。

独立前のサントメ経済は、耕地面積の90%を占めるカカオ、コブラ、コーヒー等の商品作物の生産と輸出に全面的に依存しており、それらを28家族のポルトガル人が大農園制で栽培していた。独立後は、農園の経営者であったポルトガル人と基幹労働者であったカーボ・ベルデ人（当時1.2万人いたと言われる）が本国に引揚げたため、農園経営は壊滅状態となり、生産量は大幅に減少し、輸出の激減、外貨の不足、輸入の縮少、という一連の経済的困難が起っている。

一方、耕地面積の10%の土地に1万家族以上の原住民が零細な農耕を営んでいるが、島民の食糧を自給することができず、殆んどの食糧を輸入している。したがって、新政府の最重要かつ緊急の政策課題は、農地改革を行って、従来の輸出向商品作物からとうもろこし、米等の

主食作物への転換をはかり、主要食糧の供給を確保することである。

なお、工業製品も農業加工、石けん、製材の工場がある程度で、工業製品はほとんどすべて輸入せざるを得ない状態にある。

## 8. 面会者リスト

NAME	POSITION
MARIA DA GRACA AMORIM (外務・協力兼教育・文化大臣)	Ministro dos Negócios Estrangeiros e Cooperação e Ministro da Educação e Cultura
OVISIO PEQUENO (外務省協力・経済問題局長)	Director de la Cooperação e das Questões Econômicas
JULIETA DA GRACA DO ESPIRITO SANTO (保健・スポーツ省企画局長)	Medica - Responsavel pelo Apartamento de Planea- mento do Ministério da Saude e Desportos
DANIEL AFONSO (中央病院事務局長)	Director do Hospital "Dr. Ayres de Menezes"
JOSE FRET LON CHANG (水道・電気公社局長)	Director Empresa de água e eletricidade
TOME AGOSTINHO DAS NEVES (水道・電気公社次長)	Chefe Secretario Empresa de água e eletricidade
M.T.F. CABRITA (UNDP代表)	PNUD Office - in - Charge Director of PROJECT Serviço Metro- lógico organização e formação
ARMANDO FERNANDES PIRES (集団・海上輸送局長)	CORREIA Director dos Transportes Colectivos e Maritimos "Transfolmar"
POSCOAL AYRES PIRES DOS SANTOS (土木建設局長)	Director de Construção Civil
JOAQUIM LOPES DA ROCHA GOMES (建設・住宅・運輸・通信省官房長)	Chefe de Gabinete do Ministério das Construções da Habitação, Transportes e Comunicações

## 9. サントメ政府要人との懇談(メモ)

### (1) Maria Da Grasa Amorim 外務大臣(11月28日 14:30~15:00)

当方より「サ」来訪目的を説明。それに対して、大臣より「日本の無償援助意向表明に対し謝意を示すと共に、今回の無償援助については道路建設及び教育分野を希望。

今後日本側の長期的な経済、技術協力についても強く希望しており、また「サ」の主要輸出品であるカカオ、コーヒーの市況が悪くて困っているのを、若し日本にそれらを輸入してもらえればありがたい。」旨発言があった。

### (2) Ovisio Pequeno 外務省、経済協力局長

11/25 第1回目 9:00~10:30

当方よりミッション来訪趣旨説明し、2億円を限度とする本年度無償協力計画につき日本側意向を伝達すると共に「サ」側希望案件のとりまとめならびにそのリストの非公式提出方依頼する。これに対して局長より謝意が示されると共に、リストの早急な提出方了解をとりつける。さらに局長と下記のような応答があった。

① 80年度案件といってもS. TOME側会計年度は12月に終了するので援助が完結できないのではとの質問

(我が方の会計年度上問題のないことを説明)

② 既に「サ」より要請のある水産無償の可能性はどうか。

(水産無償については、援助は難しい旨説明。先方了解)

③ 150t島嶼間連絡船取得につき強い要望あり。

(我が方供与予定額の範囲では150tの船舶購入は困難であり、どうしてもということであれば極めて小型の船になることを説明)

④ 各種機材、車輛等の価格について質問

(当方資料の金額は極めてラフなものであると注釈の上提示)

11/26 第2回目 16:00~17:00

当方より、希望としては先ず供与プロジェクトのセクター決定(場合によっては複合しても差し支えない)が先決であることを強調する。当該セクターのプロジェクトの所要機材、機器につき詳細リストの提示があれば、東京において最終価格の集計算定を行い、供与品目の概数を判定できるので、それを「サ」側に提示する。右算定書を検討の上、公式要請書を在ガボン日本大使館経由提出すべき旨説明し、次いで日本の無償援助の仕組み及び手続きにつき資料と共に説明する。先方は他の諸外国より援助を受けた経験もあり、大体了解できるとのことで簡単な説明に終わった。

11/27 第3回目 9:30~10:00

資料要請リスト及び訪問希望先リストを手交し、(別添1)訪問先の日程を作成するよう強く要請する。

11/29 第4回目

先方より機材要請リスト(別添2)を受けとり内容につき説明をうける。我が方からは専門家派遣及び研修員受入れ、食糧援助及び食糧増産援助につき説明する(先方よりは右につき具体的な要請なし)。

(3) 建設省土木建設局

CORREIA 輸送局長、SANTOS 土木建設局長、他1名先方より要請機材リストにつき説明があり、次のような発言があった。「土木建設局では毎年計画書を作成している。道路関係で直接にはいつも300人程度が働いており、間接的な労働者を含めると1,300人程度になる。ロンドンに政府の貿易公社事務所があり、トヨタ車の買付けをしたことがある。現在、サントメ〜リーブルビル間及びサントメ〜プリンシベ間には、60t級の不定期貨物船が運航している。150t級の貨物船を入手したいが、その費用はどのくらいか」

これに対して我が方より「150tの貨物船で150~200万ドルかかるが、今回の援助予定額では困難な旨説明。我々は今回提出された必要機材リストを持ち帰って、適正な規模を決めて通知するので、右検討の上、具体的理由を付けて公式要請書を出して欲しい」旨説明。

## 10. その他調査資料

(1) 厚生省 Julieta da Graga do Espirito Santo 企画局長

来訪趣旨説明。今年度無償援助についても説明及び医療事情聴取。

① 病院数

首都 中央病院 1

Centro de Saude (医療センター) 7 (各郡に1つ)

② 医師数

42人 (サントメ人8人、外国人34人)

③ 他

看護婦 72人

補助看護婦 27

助産婦	14人
同補助	12
レントゲン技師	4
同補助	7
眼科技師	6
歯科技師	1
栄養士	4

④ 研究所

技師	7人
同補助	14
統計専門家	3
同助手	7
薬剤師	11
同助手	11
衛生技師	7
同助手	3

⑤ ベッド数

400～450ベッド

⑥ 諸外国よりの医療専門家

キューバ	18人
中国	11
北鮮	4
ソ連	3
ポルトガル	1
東独	1 (婦人科)

総合医1、歯科1、眼科1

泌尿器科1、通訳1

他にボランティアとしてスペイン1、ブラジル1(国連から)

※ 要請すればWHOより3～4ヶ月の医師臨時派遣可能。(本年8月まで3年間WHOより医師1名派遣されていた)

⑦ 医療機材

レントゲン機械	サントメ	1台(故障)
	プリンシベ	1台

※サントメに近く1台設置の予定

⑧ 病 気(死亡率順)

1. マラリア(現在WHOの協力を得て撲滅キャンペーン実施中)

2. 消化器系疾患（小児に多い）
3. アネミア（貧血）
4. 寄生虫病
5. 呼吸器系（特にぜんそく）

⑨ 要請

- 地方診療所向け歯科治療台各1セット（7地区）機材共
  - 眼科治療機材
  - 外科手術施設
- （厚生省よりの要請機材リストは外務省へ提出する旨発言あり）

(2) Central Hospital（サントメ北側高台） Sr Daniel Afonso 事務局長

- 同事務局長より機材の老朽化、不足につき強く訴えるところあり。
- レントゲン機械は2セットあったが、1つは旧式で長期間故障のまま放置、他の1セットは故障中。
- 血液貯蔵器2台（1台故障中）  
酸素吸入器1台（故障中）

(3) 水道、電気公社 Mr. Towé Agos Linho das Neves 次長

一般電力事情につき聴取すると共に、下記施設の案内を受けた。

① Contador 水力発電所

北海岸Neves市の先サントメより28kmを左折（Contador川溪谷所在）

1,200kW 発電機2台 30,000V

アメリカ、ボルトガル製

落差800mの導管タンク3km上流

完全作動中

② GUEGUE 水力発電所 サントメ市郊外

150kW 発電機1台 1年前から破損修理中

③ 発電所数

水力発電所2（1カ所故障）、火力発電所3

(4) UNDP 事務所 M.T.F. Cabrita 事務所長

① UNDPからの援助プログラム入手（別添4）

② 所長の記憶による二国間援助実績

オランダ	畜産関係(ミルク、チーズ)の技術協力
ポルトガル	教師(学校)、発電所・水道関係技術者30人
東 独	陶器工場、印刷業
U S S R	機械、水利
スウェーデン	Building(現地人用住宅)
フランス	様々な分野(ミッション来訪)
北 鮮	Medical doctor
中 共	Rice productionの技術者(引き上げて現在なし)
	水利関係
アメリカ	本年ミッション派遣実施済

(5) 小学校 ESCOLAS PRIMARAS 校長2人

① 小学校には国内に12の本校がある。(Escola Nuclear)

本校の下に複数の分校(衛星校)があり、1グループを形成する。

② 衛星学校は国内で60数校ある。(Escola Satélite)

③ サントメ市には本校1,000人、衛星校2校を含めて3,000人の生徒がいる。

④ 全国の学生数は20,000人(中高を含む)

⑤ 本校に校長が2人おり、各学年に担任教授を置いている。

⑥ 土曜日には分校の各先生が中央に集まって指示を受ける。

⑦ 小学校……初年、1年、2年、3年、4年生の5年制

中学校……5年、6年生の2年制

この上に最高学府として工業高校(Liceo Tecnico 3年制)がある。

それ以上の教育は外国に留学せざるを得ない。

○ 学生が多くて部屋が小さいため3部教授をしている(1クラス36名程度)

○ 授業料無料

(6) 集収資料

São Tomé and Príncipe - Recent Economic Development



Liste des documents que nous voulons obtenir

- 1<sup>e</sup> le schéma du gouvernement saotomèneen  
(la composition des ministères)  
et celui d'administration du ministère-coordonateur pour la coopération internationale
- 2<sup>e</sup> la situation actuelle et les résultats obtenus de la coopération économique et technique faite par les pays étrangers ou les organismes internationaux
- 3<sup>e</sup> le plan national de développement économique (s'il existe)
- 4<sup>e</sup> la répartition (quote-part) du budget national de l'année 80 par ministère
- 5<sup>e</sup> Education nationale
  - 1) système éducatif
  - 2) le nombre des établissements d'enseignement (scolaires)
  - 3) le nombre des enseignants et des élèves
  - 4) existence des établissements pour la formation professionnelle (écoles)
- 6<sup>e</sup> La situation médicale
  - 1) le nombre des médecins et des infirmières
  - 2) le nombre des établissements médicaux et para-médicaux (hospitaux, dispensaires, etc.)
  - 3) le nombre des lits et la situation actuelle sur la possession des matériaux médicaux
  - 4) les maladies (les plus atteintes)
  - 5) le cas de paludisme (la situation)
- 7<sup>e</sup> Transport
  - 1) la carte routière
  - 2) la situation actuelle des routes
  - 3) les équipements et les matériaux pour amélioration et aménagement des routes
  - 4) la situation des services nationaux de transport (le transport terrestre, le transport maritime, le nombre de chaque moyen de transport, soit des véhicules, soit des bateaux par catégorie)

des passagers, des vivres, des produits, etc.)

8<sup>e</sup> La représentation des organismes internationaux (s'il existe)

Les Ministères et les établissements que nous desions visiter

- 1) Ministère de la santé (publique)  
(établissements médicaux)
- 2) Ministère de la construction  
(magasins pour des équipements et des matériaux de construction,  
ateliers pour ses réparations)
- 3) Ministère du transport  
(chantier naval, installations portuaires)
- 4) Ministère de l'éducation nationale  
(établissements scolaires, écoles pour la formation professionnelle)
- 5) Organismes internationaux

Ministério das Construções, Habitação, Transportes et Comunicações

- 6 Carros ligeiros Toyota
- 2 Geeps Mitsubishi
- 4 Camiões de 9 tons com reforço e tracção basculante
- 1 Camião 12 tons (caixa cumprida)
- 2 Gruas
- 1 Máquina de soprar pó
- 1 Tractor Bulldozer Caterpillar D7 com ripper

Ministério da Educação e Cultura

- 1 - Aparelho de Microfilmagem com câmaras gêmeas para filmes de 16 e 35mm - 1
- 2 - Laboratório de revelação de microfilmes com montador de jackets - 1
- 3 - Policopiador de fichas de bibliotecas
- 4 - Prateleiras e caixas metálicas para arquivos (Arquivo Histórico - 500 caixas)
- 5 - Equipamento de alarme contra o fogo - 3
- 6 - Equipamento de alarme contra o Roubo - 1
- 7 - Equipamento de sonorização de ambiente
  - a) Colunas (250 watts) - 4
  - b) Amplificador (200 watts) - 1
  - c) Préamplificador - 1
  - d) Misturador c) capacidade para 6 micros (6 linhas) - 1
  - e) Microfones - 6
- 8 - Laboratórios de Física, Química e ciências de naturais - 5 de cada Ramo
- 9 - Uma viatura equipada c) equipamento para projecção de filmes (cinema ambulante)
- 10 - Geep - 1
- 11 - Instrumentos e aparelhagem musical para um conjunto musical
- 12 - Máquina de projecção de filmes com objectivas permutaveis para 16 e 35mm - 1
- 13 - Gravadores de cassettes - 3

- 14 - Máquinas de escrever - 8
- 15 - Extintores - 7
- 16 - Máquina fotocopadora (a seco e para papel comum) - 1
- 17 - Ficheiros metálicos para fichas normalizadas (12,5x2,5)
- 18 - Carrinha fechada
- 19 - Gravadores de fita magnética - 2
- 20 - Máquina fotográfica (profissional) - 4
- 21 - Máquina de filmar - 1
- 22 - Armário metálico com gavetas para cartografia - 2
- 23 - Projectores de slides - 6
- 24 - Aparelhos de desumidificação do ambiente - 10
- 25 - Aparelhos encerradores - 3
- 26 - Aparelhos de pó - 4

(11)

LISTE DES PROJETS

	Titre et sigle	Numéro
DCTD	- Conseiller en finances publiques (Conselheiro das Finanças Publicas)	STP/75/021
UNFPA/DCTD	- Recensement de la Population (Censo das Poblacao)	STP/76/PO.1
OPE	- Formation des Diplomates/Economistes (Formacao des diplomaticas/Economistas)	STP/77/002
	- Séminaire International de la Femme Rurale (Seminatio Internacional de la mujer rural)	STP/79/003
UNV	- Assistance à l'Enseignement Secondeire (Assistencia à la Ensenanza Secundaria)	STP/79/001
	- Assistance au Secteur Médical (Assistencia a la secor medical)	STP/79/004
FAO	- Centre National de Perfectionnement Technique Agro-Pastoral (Centro Nacional de Perfeccionamiento Tecnico Agro-Pastorel)	STP/78/001
	- Assistance au Ministère de l'Agriculture (Asistencia del Ministerio de Agricultura)	STP/75/025

(111)

LISTE DES PROJETS (SUITE)

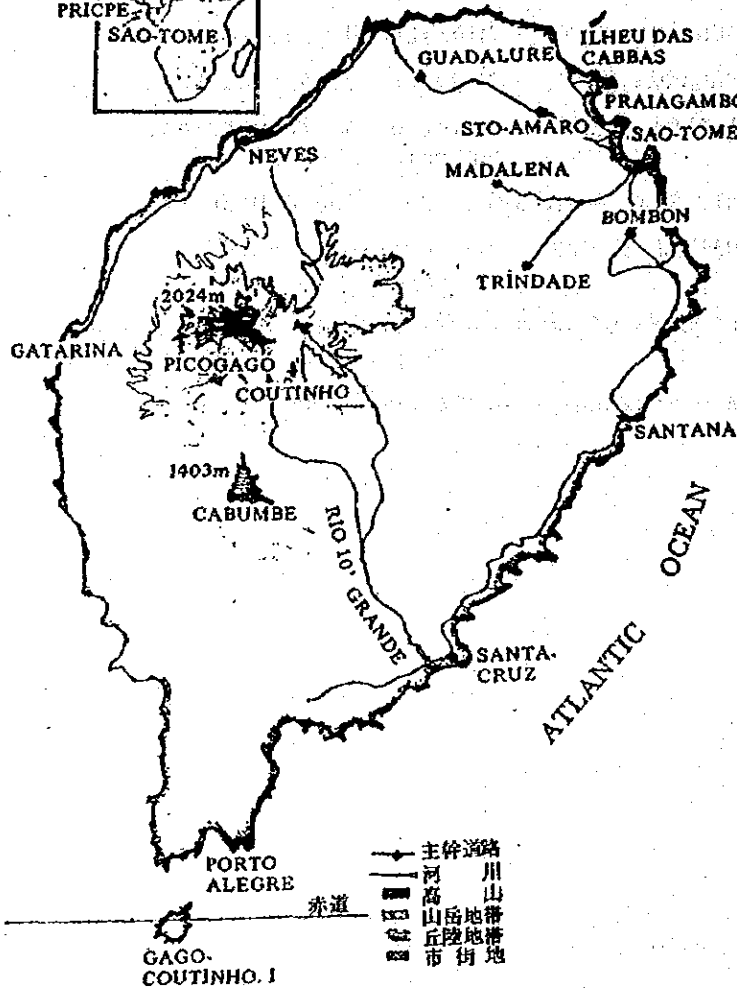
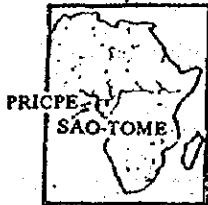
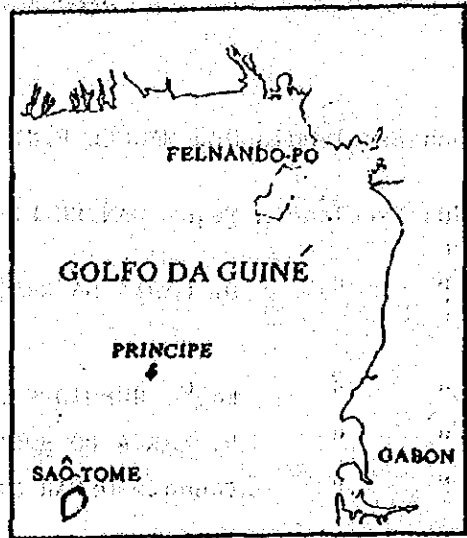
	Titre et sigle	Numéro
WFP	- Assistance aux Ecoles Primaires et aux groupes vulnérables (Assistencia a las Escuelas Primarias y a los grupos vulneraveis)	WFP/2/250
UNESCO	- Assistance à l'Institut National de l'Education et de la Culture (Asistencia al Instituto Nacional de Educacion y le cultura)	STP/75/030
OMS	- Renforcement des Services de Santé (Reforzamiento de los Servicios de la Salud)	STP/75/011
OMM	- Organisation du Service Météorologique et Formation (Organisação da Serviço Meteorologica e Fromação)	STP/78/003
UPU	- Assistance aux Services Postaux (Asistencia a los Servicios Postales)	STP/79/002

COMPOSIÇÃO DO GOVERNO DA REPUBLICA  
DEMOCRÁTICA DE SÃO TOMÉ E  
PRINCIPE

- Sua Excelência Dr. MANUEL PINTO DA COSTA - Presidente da República e  
Chefe do Governo
- Sua Excelência Major DANIEL LIMA DOS SANTOS DAIO - Ministro da Defesa e  
Segurança Nacional
- " " D. MARIA DA GRAÇA AMORIM - Ministro dos Negócios Estrangeiros  
e Cooperação e  
Ministro da Educação e Cultura
- " " Eng<sup>o</sup>. HERMIQUE PINTO DA COSTA - Ministro do Plano
- " " D. MARIA DO ROSARIO BARROS - Ministro da Informação
- " " Tenente OSCAR SACRAMENTO E SOUSA - Ministro das Construções,  
Habitação, Transportes  
e Comunicações
- Sua Excelência DIONÍSIO TOMÉ DIAS - Ministro do Trabalho e Previdência  
Social
- Sua Excelência Dr. CELESTINO ROCHA DA COSTA - Ministro da Justiça
- " " Eng<sup>o</sup>. ARLINDO BRAGANÇA GOMES - Ministro de Agricultura
- " " Eng<sup>o</sup>. CARLOS BRAGANÇA GOMES - Ministro das Indústrias,  
Comércio e Pesca
- " " Dr. CARLOS ALBERTO TINY - Ministro da Saúde e Desporto
- " " Senhor JOAQUIM RAFAEL BRANCO - Secretário de Estado da  
Educação e Cultura
- " " Eng<sup>o</sup>. FERNANDO PAQUETE DA COSTA - Secretário de Estado dos  
Transportes e Comunicações
- Sua Excelência FAUSTO VERA CRUZ - Secretário de Estado do Comércio

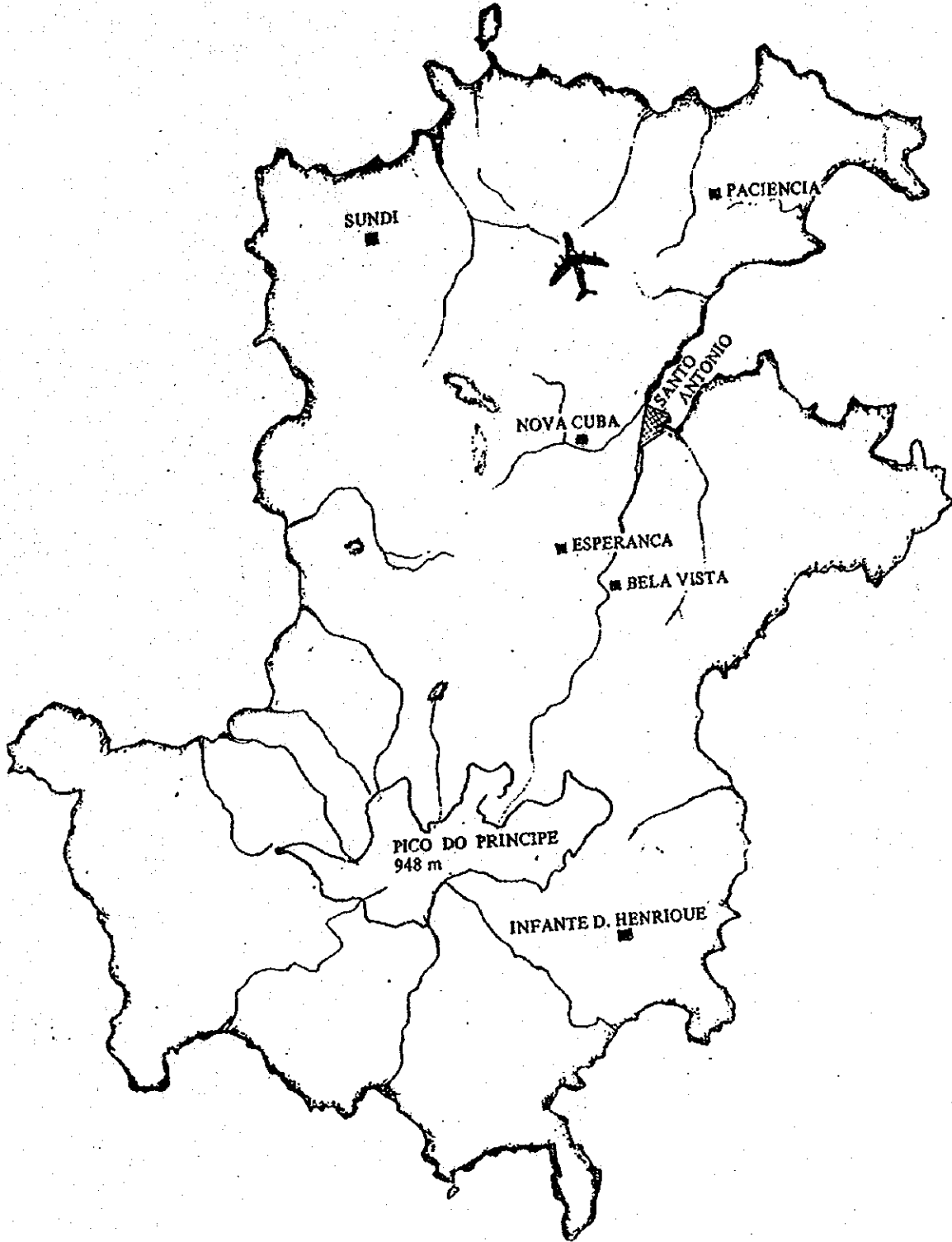


# SAO-TOME



PRINCIPE

ILHEU BOMBOM



JICA